



(参考仮訳)

プレスリリース No. 13/220
即時解禁
2013年6月18日

International Monetary Fund
Washington, D.C. 20431 USA

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事による、G8 首脳会議に関する声明

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、北アイルランドのロック・アーンで開かれていた主要 8 カ国 (G8) 首脳会議の閉会にあたり以下の声明を発表した。

「本サミットへの招待を受け世界の税をめぐる様々な課題について協議することができた。今年のサミット開催国である英国のデービッド・キャメロン首相をはじめ、G8 各国首脳に御礼を申し上げる。我々は、健全な財政政策を世界レベルで促進すべく、G8 各国を含めた IMF 加盟国や経済協力開発機構 (OECD) など他の国際機関と密接に連携している。税制や財政の透明性といった問題は、公平かつ効率的な税制及び税務行政の強化の促進のための措置など、我々の技術支援、現在進めている経済分析、及び政策助言において極めて重要な位置を占めている。

世界の税に関する課題や透明性を本サミットの議題に含めると決定したキャメロン首相をはじめとする G8 リーダーに敬意を表する。世界的な租税回避や脱税は、国の歳入にかかる主なリスクとして浮上するとともに、先進国・途上国で税制に対する国民の信頼を脅かしている。危機後の高い水準にある公的債務への対応、或いは人間開発の分野で不可欠な投資の原資をめぐる課題を問わず、新たに追加的歳入を全政府が必要としていると言っても過言ではない時において、脱税及び租税回避対策は潜在的な歳入拡大措置策のリストのトップに位置づけるべき課題である。

また、ロック・アーン・サミット宣言で 10 原則を示した G8 首脳にも敬意を表する。公平な税、透明性の向上、そして開かれた貿易へのコミットメントは、健全なマクロ経済政策の継続並びにより力強い成長及び雇用創出の回復に向けた、より大局的なコミットメントを支えることになろう。IMF は、G8 諸国を含めた加盟国及び他の国際機関と、このように重要な問題や課題について密接に連携する用意がある」